

第2次総合計画懇話会委員の意見等への対応について

資料1-1

H22.2.9.

回	No.	分野	委員	要望・提案・意見の要旨	区分	会場での対応（専門委員）	対 応	原文	修正（案）	担当局
1	3	1総論	小野寺	情報化が進んでいるからこそ、情報が行かないとか、情報がきちんと使われないというような、情報格差という問題について検討がなされているか。	意見	⇒	総論「1市民とともに高めていくことが必要な意識」中、「(4)ICTを活用したまちづくり」「①地域社会の情報化推進」の中で、対応していきます。		「ブロードバンド環境や地上デジタル放送も整備が進められてきていますが、なお、情報格差が存在していることも事実です。このような中、更なる情報通信基盤の整備を促進するとともに、市民一人ひとりの情報の処理・活用能力を高め、すべての市民が情報化の恩恵を享受できる環境を整えます。」と文章化しました。	経営企画局
1	4	1総論	杉山	今後、タウンミーティングを予定しているということで、その際には、やはりポイント、ポイントが市民にわかりやすい資料をつくっていただきたい。	要望	⇒	タウンミーティング資料ということで、すでに対応済みです。今後は、2次総計画についても、市民目線に立った資料作成に努めてまいります。		ご意見を踏まえて、資料作成いたしました。	経営企画局
1	6	1総論	松浦代理（赤堀）	1次の基本計画で役割が終えたものとか、外したものとかなには、どのようなものがあるか。	意見		市民生活にかかわることですので、もうこれはないぞ、というのは実はほとんどございません。やはり強調すべきところを強調したり、もう少し主体をはっきりさせたほうがいい場所などについて、まとめています。		—	経営企画局
2	10	1総論	佐藤会長	第1次総では、プロジェクトが12だったものが、今回13になっているのはなぜか？	意見		「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして対応します。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
2	11	1総論	杉山代理（五十嵐）	「世界に輝く」という割に、項目は世界になっていない。強調したいということでプロジェクトとして挙がっていると思うが、強弱にばらつきがあり過ぎるという感じる。やっぱり項目数が多いので、総花的になっている。	意見		基本的な考え方として、勝ち抜くための世界の対象ということよりも、フィールドとしての世界があって、そこにいる静岡の人やあるいは活動といったものが、それぞれに個性を発揮しながらさまざまに展開することによって、結果としてそれが世界に輝いていけるような、そういうあり方というのを目指すということの表象として「世界」という言葉を掲げています。 輝く『人財（ひと）』がいる。そこに、輝く『価値（かち）』が生まれ、輝く『地域（まち）』が創られる。そしてその結果として『静岡』が世界に輝くというような視点で戦略を考えて一人一人の個性の発揮と可能性の開花を目指すといったところを掲げています。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局

2	14	1総論	上利	戦略的なプロジェクトである以上は、何かもっと具体的なプログラムを持って、計画であるとか実施団体であるとか、そういうことをもっと明確にしていくものではないか。	意見		「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして対応します。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
2	16	1総論	松浦代理(赤堀)	いろいろな方の意見を聞くと、全体を納得させるためにどうしてもぼけちやうような観点が出てくるのはある程度やむを得ない。聞くことは非常にいいことだと思うが、それと同時に、例えば行政なり、トップの方がこうやりたいんだというような強い意思が、ある程度この戦略ポイントの中に現れていると、もう少しめり張りが効いたものになるのではないかと思う。	意見		「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして対応します。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
3	20	1総論	杉山代理(五十嵐)	5年間の基本計画で、今のこの時代変化の中で、市民が一番求めているものはもう少し内向きじゃないかなと思う。何が、5年で世界に羽ばたくのかなど。もう少し市民向けの、落ち着いた感じ、財政的に厳しい折の中で夢を若干入れた中で、市民が安心して静岡市で美しく暮らせるといった感じのものであるべきと思う。	意見		基本的な考え方として、勝ち抜くための世界の対象ということよりも、フィールドとしての世界があって、そこにいる静岡の人やあるいは活動といったものが、それぞれに個性を發揮しながらさまざまに展開することによって、結果としてそれが世界に輝いていけるような、そういうあり方というのを目指すということの表象として「世界」という言葉を掲げています。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
3	21	1総論	松浦	世界となると少し現実離れしてしまう。そこへ行く前の、前段階でやらなきゃならないことが、まだまだいっぱいあると思う。	意見		輝く『人財(ひと)』がいる。そこに、輝く『価値(かち)』が生まれ、輝く『地域(まち)』が創られる。そしてその結果として『静岡』が世界に輝くというような視点で戦略を考えて一人一人の個性の發揮と可能性の開花を目指すといったところを掲げています。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
3	23	1総論	小野寺	今の時代だからこそ広く目を開いて、静岡を外に発信しようという気持ち込みで、実際に世界に羽ばたけるかどうかは別として、何か夢が持てるというふう思った。視点として若者を育てるといふか、若者が集って一緒にやっていったり、それともう1つ世代間を連携してやるというような形で人の力が集まって世界に発信するというような視点もあっていいんじゃないかと思う。	提案		「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして対応します。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局

3	24	1総論	榎本代理 (青山)	中山間地域の実態を見ると、世界というよりもあしたをどうするかという状況だと思う。お茶は非常に価格が低迷してる中で、荒廃畑が非常に多くなっていて、世界について地元の皆さんに話ししてもびんとはこない。世界向けなきゃいけない部分と、地元でしっかりやらなきゃならない部分と、そこを整理したほうが市民には理解ができると思う。	意見		「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして対応します。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
3	25	1総論	松浦	政令市・静岡は広域で農山漁村あり、豊かな自然に恵まれて、歴史ある伝統と文化、バランスがとれた産業など一つの小さな国を想定できる、そういう政令市です。せっかく新しい形の政令市の第1号となったんですから、ぜひ今後他のモデルになる、そういうまちづくりを願っています。	意見		「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして対応します。		ご意見を踏まえて、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに、3つの戦略と9つのプロジェクトとして整理し、第3回懇話会においてご了承いただきました。	経営企画局
4	26	1総論	上利	1次総では、12のスタートアッププロジェクトがあります。ところがその次のページでは指標というところがあって、これの数がもっと多い。スタートアッププロジェクトと完全に対応してるものもあるし、そうでないものもあるが、なぜ新たに指標がつけ加わってるのか、よくわからない。	意見	1次総では、スタートアッププロジェクトのほかに、5年後の市民生活はこうなります、まちづくり成果指標アップ20という別の指標を掲げ、成果指標のまとめを2つ掲げています。それぞれのプロジェクトに対しての結果と、まちづくりの成果指標アップ20、住民生活全体に関して指標として捉えたことが望ましいというものを掲げています。	左記により対応いたします。	—	—	経営企画局
4	27	1総論	杉山代理 (五十嵐)	成果指標アップ20の指標は、この5年間で終了とするのか、それとも、この先も例えば100%に近づくために、続けていくのか？	意見	新しい戦略プロジェクトの中で、この成果指標をそのまま引っ張ってこれるものもあるだろうと思っております。特にそれは基本的に継続して重要、継続してやっていくべき内容になってまいります。さらにほかの指標でより適切なものが見つかるならばそれに変更していくといったような考え方で整理をしていくということになるかと思えます。	左記により対応いたします。	—	—	経営企画局
4	28	1総論	佐藤会長	政令指定都市としての静岡市の姿は、いまや蒲原、由比も入っているので、今の時点で書くとするれば、そこまで含めて書いていくほうが、良いと思う。	提案	⇒	ご提案の趣旨のとおり、修正対応いたしました。	「第1部 1 静岡市基本構想・目指すまちの姿」中、「…指定都市移行と同時の平成17年4月に、第1次静岡市総合計画がスタートしました。」	「第1部 1 静岡市基本構想・目指すまちの姿」中、「…指定都市移行と同時の平成17年4月に、第1次静岡市総合計画がスタートしました。その後、平成18年3月には蒲原町を、平成20年11月には由比町を、それぞれ編入し現在に至っています。」	経営企画局

4	30	1総論	榎本	限界集落という言葉が出てくるが、山間地の皆さんのところへ行って、限界集落っていうと、もうおしまいだというような、非常に暗いイメージを与えている。配慮してもらいたい。	意見	例えば、国の制度として、その言葉を使わざるを得ない場合もありますが、言葉の表現をどうするのかといったところについては、非常に気を使わなければいけないという理解でおります。今後も気配りしていきます。	十分に配慮しながら、対応していきます。	—	—	経営企画局
4	32	1総論	須藤	タウンミーティングでやった内容がどう反映されているのか。あるいは、全部含まれていて、実施計画の中でかなりいろいろの要望、意見が出たから反映していくのか。タウンミーティングをやった意味がどこに図られているのかというのを伺いたい。	意見	タウンミーティングでいただいた意見等は、主にこういう事業をやってもらいたい、そういう個別事業の要望が大部分でございました。政策体系について、この体系はおかしいよとか、こういう体系を追加すべきだというようなのはなかったと思います。出された御意見についてはすべて関係する部局へ渡していますから、そういった御意見を踏まえた事業を部局から我々のほうに提案していただくようにしております。	左記により対応いたします。	—	—	経営企画局
4	34	1総論	尾崎	「男女共同参画の推進」の位置づけについて、第1次総のときにはかなり高いところに位置づけられていたが、2次総ではそれが感じられない。最近、政策決定の場の新聞記事を見てもほとんど男性ばかりで、女性はあまり参画していないということがよくわかる。男女共同参画推進に力を入れてほしい。	意見	コミュニティ活動の推進、男女共同参画の推進、それからワーク・ライフ・バランスの推進、そして、ユニバーサルデザインそのものが非常に広い概念であるということがあるので、そこを全部切り離した形というのは非常に難しいと思います。それらが全部関連し合う中で新しい社会を構成できるのではないかと、そういう議論の上で、社会の多様性に対応したまちづくりというふうに取り上げたわけですね。男女共同参画が重要だからこそ、施策の連携をさせることがむしろ大事ではないかなと考えたわけですね。	左記により対応いたします。	—	—	生活文化局
5	35	1総論	杉山代理 (五十嵐)	旧蒲原町、旧由比町についても、計画の中に散りばめていただけると、いいのかなというような感じがする。	提案	⇒	十分に配慮しながら、対応していきます。	—	—	経営企画局
5	58	1総論	小野寺	地域の特色を活かしていくことが重要である。そのために区があるのでないか。地域独自のやり方を活かせる部分に対して予算が付けられるように、区で予算が組める部分も創るなど、してもらいたい。	意見	⇒	現在、本市ではいわゆる「小区役所制」を敷いているため、各区の独自性を十分に発揮していただくの人員や予算等を有している訳ではありませんが、今後、さらなる区内分権を模索するなかで、検討してまいります。	—	—	経営企画局

5	63	1総論	榎本	今、生活環境という分野で、農業中心の問題にもなっているが、特に有害鳥獣、シカ、あるいはイノシシ、サル等、あるいは最近ではクマについて、非常に大きな問題になってきている。これは農作物を荒らすという域を超えて、市民生活にまで影響してくる状況になっている。農業サイドの問題で捉えるだけでなく、生活環境の問題として捉えていただいて、長期計画の中に盛り込んでもらいたい。	要望	⇒	総論「市民とともに高めていくことが必要な意識」の「都市と山村が共生するまちづくり」の中で、中山間地域における安全に安心して暮らせる環境整備を進めていきます。	—	—	経営企画局 経済局ほか
5	66	1総論	小野寺	市民参加と協働を柱にしている以上、参画を推進するには場が必要だと思う。部や局を繋げ、横断的に取り組んでいけるところがないと、複雑な問題を横断的な施策として考え、具体的な事業としていくことは難しくなると思う。横断的な事業を繋げて一緒に考える場所を作る施策などを、どこかに書いていただきたい。	要望	⇒	総論「まちの経営システム」中、「市民と行政との協働によるまちづくりを進める」において、主として対応してまいります。各論の様々な分野においても、効果的に事業を連携していくことができるよう、適宜対応してまいります。	—	—	経営企画局
5	67	1総論	松浦	例えば、それぞれの事業主体というか、計画の実行主体即ち市が主導的にやるのか、あるいは市が市民、あるいは事業所を巻き込んでいわゆるコラボレーションでやるもの、あるいは新たな公（NPO法人等）を育成し、そうした新しい担い手にやらせるもの、あるいは市民が、地域で、自律的にやるもの、更には市が県や国に話しかけていくもの、いろいろあると思う。それぞれの事業がどうなるのか、その点をはっきりした方が良い。	意見		今後5年間の事業計画というのをつくってまいります。その中では事業の主体とか事業量、いつまでにやるといったようなもの、と同時に各分野ごとの目標値、指標的なもの、そういうものも打ち出していきます。	—	—	経営企画局
5	69	1総論	佐藤会長	市では行財政改革が進められており、先日の新聞でも、第2次行財政改革大綱が出されたということが報道されていました。この総合計画を具体化していく中で、行財政改革とどう関連づけて考えていくのかという、そういう視点がやっぱり大事じゃないかと思う。	意見		総合計画も行財政改革につきましても経営企画部で所管しており、それぞれ関連する部分について調整いたしております。総合計画を裏打ちするため、行財政改革の進展によりどれぐらいの財源を絞り出すかというような話もあり、総論あるいは各論の中で関連性も出てくるものがありますので、お互いの状況を見ながら、記述していきたいと思っております。	—	—	経営企画局
1	7	1総論 産業・経済	望月	静岡ブランドだとか静岡型という言葉が出てきますが、一体何をどういうふうにしていったらいいのか非常にわかりにくい。どういうことをイメージして言ってるのか、教えてほしい。	提案		総論「1市民とともに高めていくことが必要な意識」において、「(2)世界を意識したまちづくり」「②温もりのある静岡ブランド」の創造を掲げ、市民意識の中にある「温もり」をキーワードに、静岡ブランドとして醸成していくこととしている。また、特に産業・経済分野においては、農林水産や伝統産業技術などの豊富で特色ある地域資源を戦略的に有効活用するブランドづくりに取り組んでいきます。	—	—	経済局ほか

1	9	2健康・福祉	小野寺	「健康・福祉」の子育てのところで、家族と家庭という言葉が出てきますが、どのように使い分けているか教えてほしい。	意見	深く議論はしていませんが、家庭といた場合は、その場を想定し、家族という場合はその家族の関係性というものに重きを置いています。	会場での対応どおり			保健福祉子ども局
2	13	2健康・福祉	河合	福祉は、それぞれが自立してやっていけるという、それが望ましいことであるが、やはり自立できない人がいるわけで、そういう人たちに対する配慮というようなことはどこで取り上げられるのか。表現の問題として、やっぱりお互いが助け合うというような、視点として入ることが必要だと思う。	意見	基本計画の健康福祉の分野には「支え合う」ということを入れており、非常に重要な視点だというふうに十分認識しております。	特に自立支援が必要な人に対する配慮については、「2未来を築く元気な子どもの育成支援」、「3障害のある人の自立を支えるシステムの構築」及び「4人間関係豊かな長寿のまちの確立」において、記述しています。また、「助け合い」については、人口減少社会に対応する体制として必要不可欠であるという認識のもと、「1心がかよい笑顔あふれる市民福祉の推進」及び「戦略Ⅰ-③社会参加と自立のまちプロジェクト」において、その視点に基づき推進していきます。		健康・福祉分野において、特に自立支援が必要な人に対する配慮については、「2未来を築く元気な子どもの育成支援」、「3障害のある人の自立を支えるシステムの構築」及び「4人間関係豊かな長寿のまちの確立」において、文章化しました。また、「助け合い」については、人口減少社会に対応する体制として必要不可欠であるという認識のもと、「1心がかよい笑顔あふれる市民福祉の推進」及び「戦略Ⅰ-③社会参加と自立のまちプロジェクト」において文章化し、その視点に基づき推進していきます。	保健福祉子ども局
2	18	2健康・福祉	榎本	食育の基本計画が作られて間もないが、具体的な取組が盛り込まれていないと思う。	意見	各論の健康福祉分野で、対応していきます。	「5 いきいきと暮らせる健康づくりの推進」中、「(1)一次予防を重視した健康づくりの推進」において、食育の推進について記述するとともに、「(4)健康に関する危機管理の推進」で、危機管理体制及び食の安全・安心対策について記述し、食育の推進に努めていきます。		健康・福祉分野において、「5 いきいきと暮らせる健康づくりの推進」中、「(1)一次予防を重視した健康づくりの推進」において、食育の推進について文章化するとともに、具体的な食育に関する取組については、実施計画の中で記述していきます。	保健福祉子ども局
5	39	2健康・福祉	佐藤京	この計画全体について、高齢者の部分が少ない。高齢者の健康であるとか福祉とか、そういった部分に重要な課題がたくさんあると思う。特に、清水区では医療問題など、不安が多い。	意見	⇒	高齢者については、主に「4人間関係豊かな長寿のまちの確立」において記述していますが、2次総においては、認知症高齢者が急増している現状を受け、大施策に「(4)高齢者が尊厳を持って豊かに暮らすための体制整備」を、新たに設けたところです。また、医療関係については、「5いきいきと暮らせる健康づくりのための環境整備」中、「(3)安心して受けられる医療の充実」の体系に基づき、対応していきます。	—	—	保健福祉子ども局
5	40	2健康・福祉	須藤	何とか医師不足を解消してほしい。これは静岡市全体でもう少し医師の交流をすとかして、そういう問題を解決してほしい。	要望	⇒	医療関係については、「5いきいきと暮らせる健康づくりのための環境整備」-「(3)安心して受けられる医療の充実」において、対応していきます。	—	—	保健福祉子ども局

5	44	2健康・福祉	榎本	健康という基本は食だと思う。そういう視点でのとらえ方がちょっと薄いと思う。特に、食育基本法ができてから、静岡市も昨年、食育基本推進計画を策定してやってきている中で、ここに食育の推進という言葉はあるが、具体的にどうやっていくのかという展開が全然見えない。インフルエンザ予防が大事であるというお話があったが、もう少し食の視点のとらえ方をどこかへ入れてもらいたい。	提案	⇒	「5 いきいきと暮らせる健康づくりの推進」中、「(1)一次予防を重視した健康づくりの推進」において、食育の推進について文章化するとともに、「(4)健康に関する危機管理の推進」で、危機管理体制及び食の安全・安心対策について記述し、食育の推進に対応していきます。具体的な食育に関する取組については、実施計画の中で記述していきます。	—	—	保健福祉子ども局
5	45	2健康・福祉	河合	60歳を過ぎた人たちにも働いていた、高齢者の就労支援というのが国の計画にもあるが、市においてもそういうことをこれから考えていくべきと思う。	提案	⇒	高齢者のこれまで培ってきた経験や技術、知識を活かすことは、非常に大切なことであるとともに、定年後の生活の安定を図るためにも必要なことです。このため、大施策「充実した高齢期を送るための支援」一中施策「高齢者の就労支援」の項目を掲げ、高齢者の就労支援に対応していきます。	—	—	保健福祉子ども局
5	46	2健康・福祉	河合	入所希望する方のすべてを収容するだけの特別養護老人ホームをつくることは非常に難しいと実感している。やはり家庭にあってそういう人たちが暮らしていけるような支援の制度というものをもっと考えていかなきゃならない。	意見	⇒	介護保険制度の施行により、施設系サービスや居宅系サービスが充実してきている現状があります。また、平成18年度の改正により、地域に密着したサービスが創設され、住み慣れた地域で生活できる環境がさらに整いつつあります。今後とも、たとえ介護が必要な状態となったとしても、住み慣れた地域で生活できるよう、「4人間関係豊かな長寿のまちの確立」中、「(3)安心できる長寿生活を送るための基盤整備」の項目を掲げ、居宅系サービスの充実に対応していきます。	—	—	保健福祉子ども局
5	47	2健康・福祉	須藤	もう少しお年寄りの方が就労できるようなバックアップをしてほしい。	要望	⇒	高齢者のこれまで培ってきた経験や技術、知識を活かすことは、非常に大切なことであるとともに、定年後の生活の安定を図るためにも必要なことであると認識しています。このため、大施策「充実した高齢期を送るための支援」中、中施策「高齢者の就労支援」の項目を掲げ、高齢者の就労支援に対応していきます。	—	—	保健福祉子ども局
5	53	2健康・福祉	佐竹副会長	清水では福祉まつりというのがあり、そこには授産所の方とか障害者の方とか、市民がやってきてふれあっている。年に1回ですが地域のボランティアが中心にやっていて、障害者との間を壁を少なくしている。そういうこともどんどんやっていく必要があるんじゃないかと思う。	意見	⇒	障害のある人が、必要とする支援を受けながら住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことは、非常に大切なことであると認識しています。このため、「(2)障害のある人が地域で生活できる環境づくり」の中、「②障害を理解できる地域力の向上」の項目を掲げたほか、交流の観点から「(3)積極的な社会参加を支援する環境整備」中、「②多様な障害のある人が社会とつながりを持ち交流できる環境づくり」を掲げ、障害のある人の社会参加などに対応していきます。	—	—	保健福祉子ども局

5	64	2健康・福祉	河合	例えば、老人ホームの各部屋が個室でなきゃ認可にならないというような仕組みになっています。たまたま入れた人のためにホテルのスイートルームみたいなものをつくらなきゃいけないという基準自体について、考えていただく必要があると思う。これからもっともっと入りたいという人が増えてくるわけで、本当に対応できるのかということを考えると、基準を見直すということも考えていただく必要があると思う。	意見	⇒	居室の形態について、入所者の希望が様々であり、個室を希望する方もあれば、多床室を希望する方もいるという状況にありますので、国の分権改革の動向等も踏まえながら、福祉施設の基準について検討していきます。	—	—	保健福祉子ども局
4	29	2健康・福祉 (文化・学習)	佐藤会長	子育てや子どもの教育についてはいろいろ言及してありますが、その半面、高齢者の扱いについて、位置付けがはっきりしていない。 つまり、高齢者も社会の貴重な資源だと思っているので、これをこれからのまちづくりの中で、どのように資源として生かしていくのかという視点があってもいいのではないかと。よく読むと、ところどころにそれらしいことは書いてあるが、全体として、少子高齢化という潮流の中で、特に高齢者をどう位置づけ、役割をどう発揮させるのかといったあたりを、もう少し鮮明にしてもらいたい。	提案	⇒	高齢者のこれまで培った経験や技術、知識は、地域社会における貴重な資源であるという認識のもと、「4人間関係豊かな長寿のまちの確立」―「(2)充実した高齢期を送るための支援」の項目において、高齢者の位置づけと役割等を文章化していますが、よりわかりやすく文章を一部修正しました。 文化・学習分野においては、「高齢者」の位置づけ等については、具体的な文言では触れていませんが、「3次代を担う人材の育成と環境の整備」の、「子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育の推進」、家庭、地域、学校等の連携・交流・協働による教育の推進」では、高齢者の方々の豊富な人生経験・社会経験から裏打ちされた知恵や技術等が学校教育や地域の教育活動で大変重要ととらえており、現在も学校応援団、スクールガイドリーダー等で活躍されていますが、さらに充実を図っていきます。	【動向と課題】 4 自分らしく充実した高齢期と生活の質の向上 人生85年時代を迎える中、高齢者が人とのつながりをはじめ、地域や社会に対する貢献を通じて生きがいを実感したり、自己実現のための取組により生きがいを高めていくことは、充実した高齢期を送るためには非常に大切なことです。一方、何らかの支援や介護を必要とする人々が増えているなか、認知症高齢者の数が増加しています。また、高齢者夫婦世帯の増加などにより、介護者が高齢化する傾向にあり、介護ニーズが高度化・多様化している中、介護を担う人材とサービスの質を確保することにより、生活の質を向上することは、喫緊の課題となっています。	【動向と課題】 4 自分らしく充実した高齢期と生活の質の向上 人生85年時代を迎える中、誰もが充実した高齢期を送るためには、高齢者が地域や社会に対する貢献を通じて生きがいを実感したり、自己実現のための取組を行い、生きがいを高めていくことは、非常に大切なことです。一方、何らかの支援や介護を必要とする人々が増え、とくに認知症高齢者の増加や、高齢者夫婦世帯の増加などに伴う、介護者の高齢化傾向も見られ、介護ニーズの高度化、多様化が進んでいます。こうした中で、生涯学習を充実するとともに、介護を担う人材とサービスの質と量を確保することにより、生活の質を向上することは、喫緊の課題となっています。	保健福祉子ども局
4	33	2文化・学習	上利	文化というのは計量化して数値でその発展度を示すのは非常に難しいと思うが、もっと前面に静岡での文化づくり、そういうものを盛り込んでいただきたい。	要望	⇒	文化・学習分野においては、政策体系の大きな柱として「文化」を位置づけています。 文化の発展度の計量化(数値で表すことができる指標の設定)については、事業計画に位置づける事務事業等の成果指標を設定する中で、検討していきます。	△	△	生活文化局

1	1	3文化・学習	佐藤会長	市内には、静岡大学、県立大学や、常葉大学、東海大学など、いわば知の拠点と言っているような貴重な財産を持っている。それらを資源として、知的・文化的なまちづくりに活かしていく方向で、これからの計画策定の中に位置づけることが必要ではないか。 教育とか研究の機関というのは、市民生活にとって重要なファンダメンタルズである。その辺をきちんと位置づけておくことが、市政を豊かに展開していく上でも必須の要件ではないか。	意見	⇒	文化・学習分野においては、まちづくりを行う過程において、大学等の高等教育機関をはじめ、NPOや企業等との連携・協働は重要であることととらえ、「1生涯学習の推進とまちづくりへの参加」、「(2)学びの成果とまちづくりへの参加」において対応しています。	文化・学習分野において、「1生涯学習の推進とまちづくりへの参加」、「(2)学びの成果の活用とまちづくりへの参加」において、「大学、NPO、企業などとの連携・協働による効果的な学習プログラムを開発するとともに、学習活動と地域活動のコーディネート機能の充実を図り、市民活動を支援します。」と文章化しました。 産業・経済分野において、「1都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化」、「(3)地域の産業を支える知的経営資源の活用強化」において、「地域の産業を強化するため、大学等地域の学術研究機関が保有する知的経営資源の一層の活用を促進します。…産学共同研究を支援し、その研究成果を地域の産業振興に結び付けます。」と文章化しました。	生活文化局 経済局 教育委員会
1	5	3文化・学習	上利	市民の文化活動が活性化されるためには、それに刺激を与えるような、静岡在住のプロに近い方などが重要だと思う。プロの人も含めた、芸術文化の活性化について考えてほしい。	提案	⇒	文化・学習分野においては、伝統ある地域文化・風土や文化財とともに、静岡在住の芸術家を貴重な地域資源としてとらえており、「2多彩な文化の継承と独自文化の創造」、「(1)個性あふれる市民文化の創造と地域への誇りの形成」の中で、「豊かな地域資源を活かした文化事業や質の高い芸術文化の創造活動、鑑賞機会の充実」をうたっています。 また、文化施設（ハード）の整備は芸術家の活動や作品の発表の機会が充実し、活性化の1つのツールとなると考えています。	文化・学習分野において、「2多彩な文化の継承と独自文化の創造」、「(1)個性あふれる市民文化の創造と地域への誇りの形成」において、「ソフトやハードを有機的に結びつけ、豊かな地域資源を活かした文化事業や質の高い芸術文化の創造活動、鑑賞機会の充実などを図りながら、個性あふれる文化を創造し、地域への誇りを培っていきます。」と文章化しました。	生活文化局
5	52	3文化・学習	佐竹副会長	友達と通える、ふれあうためのクラブ活動みたいな、そういうのが欠けていると思う。そのために、例えば、地域の野球好きな人間とかをどうやって巻き込んでいくかということも必要だと思う。それによって、町なりのコミュニケーションの輪ができると思う。	提案	⇒	文化・学習分野においては、「4健やかな心と身体を培うスポーツ・レクリエーションの推進」、「(1)生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」で、誰もが気軽に楽しくスポーツ・レクリエーション活動ができるよう支援しています。 また、「3次代を担う人材の育成と環境の整備」、「(3)家庭、地域、学校等の連携・交流・協働による教育の推進」の中で、地域と学校との連携を図っていきます。		生活文化局
1	2	4生活環境	小野寺	北朝鮮が核実験をおこなったことへの対応など、危機管理体制みたいなことが入っていないくて、大丈夫か。	意見	⇒	生活環境分野「3地震・水害などの災害に強いまちづくりの推進」 「(3)危機管理体制の充実」の中で、地震・水害、核兵器をはじめとする国民保護事案等への対応強化を図っていきます。	—	消防防災局

2	17	4生活環境	榎本委員	今の静岡の本当に大事な資源、これは飲料水だと思う。世界的に見て地下に自分の飲み水があるなんていう環境のあるところは余りない。そこを、大事にしていかなければいけないということで、やはり企業を誘致することによってその安心・安全の水が損なわれるリスクもあるわけで、中山間地を活性化するためには、それらの問題もとらえながら開発しなくてはいけないと思う。	意見	⇒	生活環境分野「2豊かな水と緑あふれる環境の創出」の中で、「(1)清流の都・静岡の創造」を進めていきます。	—	ご意見を踏まえ「水源から河川、海浜までを一体として保全し、まちの水辺をはぐくみ、市民に水に親しむ機会を提供することで、「清流の都」を実感できる水環境の創出を図ります。」と文章化しました。	上下水道局
2	19	4生活環境	佐藤会長	消費者庁ができ、それに応じて、各自治体で、地域の消費生活相談センターなり、あるいは消費相談の体制を強化・充実しなきゃいけないということが、大きな課題になっているが、どこで対応しているか。	意見	各論の生活環境分野で、対応していきます。	生活環境分野「4快適でゆとりと信頼ある市民生活の確保」「(1)消費生活の安定と向上」を目指していきます。	—	ご意見を踏まえ、「消費者行政の重要性が高まる中、本市においても、消費生活の安全・安心を確保するため、消費生活上の苦情や被害に対応する相談体制を充実する」と文章化しました。	生活文化局
5	49	4生活環境	松浦	消防・救急体制の着実な整備ですが、一番の問題は、東海地震のような災害時における消防・救急体制を考える時果たしてこれでいいのかと感じる。東海地震は広域に起こるし、迅速化といっても道路が通れないところが出てくるわけです。むしろ東海地震における消防・救急体制をどう考えていったらいいか。これが大きな課題だと思う。	意見	⇒	生活環境分野「3地震・水害などの災害に強いまちづくりの推進」「(1)東海地震等への対応強化」と「(4)消防・救急体制の着実な整備」の中で、緊急輸送路の整備やライフライン・建築物等の耐震化、消防出張所の新設に加え、自主防災組織を中心とした地域防災力の強化を図っていきます。	—	—	消防防災局 建設局 都市局ほか
5	59	4生活環境	澤野	東海地震の復旧・普及復興体制の強化というところはやはり、具体的にどういう復興体制の強化をするのかということを知りたい。	要望	⇒	発災後、速やかに震災復興計画を定めることができるよう、都市・農山漁村、産業、住宅等の各分野において具体的な対応策の検討をすすめていきます。	—	—	消防防災局 都市局ほか
5	62	4生活環境	榎本	静岡市は市域の中で水資源を水源地から末端まで利用できる、日本でも少ない市じゃないかと思う。よその市域、行政区域から飲料水、あるいは工業用水も含めていただかなくても自分の市域で解決できるというような、非常にすぐれた環境にある。そういう環境を維持していくために、山間地の森林の確保、水を涵養する森林の確保ということが非常に大事だと思う。	意見	⇒	生活環境分野「2豊かな水と緑あふれる環境の創出」「(1)清流の都・静岡の創造」「④安全でおいしい水の安定供給」と「(2)森と街をめぐる緑の回廊(ネットワーク)の形成」「①森林の計画的整備と多様化の推進」の中で、恵まれた水源を将来に継承するため、森林の保全や水源涵養林の確保に努めていきます。	—	—	上下水道局
5	68	4生活環境	佐藤会長	消費生活における安全・安心について、ようやく消費者庁ができ、それを本当にいい形で、実効的機能させるには、各地方の自治体における消費生活センターと、その担い手たる人的な体制をどうつくるのかということが非常に大事な課題だと思う。その点はぜひ、基本施策か、事業計画の柱として視野に入れていただくことが必要じゃないかと思う。	意見	⇒	生活環境分野の「4快適でゆとりと信頼ある市民生活の確保」「(1)消費生活の安定と向上」の中で、「消費生活上の苦情や被害に対応する相談体制を充実する」こととしており、消費生活センターの機能強化・充実を図っていきます。	—	—	生活文化局

1	8	5産業・経済	佐藤京	働く人たちが、どうしたら生きがいを持てるかよく検討してほしい。特に若い人たちの生活、将来への希望、安心した暮らしのため現状把握をしっかりと、良い対策をしていただきたい。	要望	⇒	産業・経済分野「5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援」において対応しています。今後も静岡地域若者サポートステーションや労働実態調査の状況等を踏まえ、必要な対策を講じていきます。		ご意見を踏まえて、産業・経済分野において検討し、「5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援」の文章化を行いました。	経済局
2	12	5産業・経済	佐竹副会長	富士山静岡空港ができ企業誘致にもう少し入れ込んだほうがよい。それが地域産業ブランディング・プロジェクトにも関わり、例えば人口増加や、まちの活性化につながっていくと思う。	要望	⇒	産業・経済分野「1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化」「(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進」の中で対応しています。また、戦略プロジェクト「シティプロモーション推進プロジェクト」で対応します。		ご意見を踏まえて、戦略プロジェクト「シティプロモーション推進プロジェクト」に企業誘致の観点等を盛り込み、懇話会で了承を頂きました。	経済局ほか
3	22	5産業・経済	佐藤京	これまでは、世界に羽ばたくということ、私たちが世界へ行くという感じが強かった。だから静岡空港ができて、逆に世界から静岡に来ていただく、というふうの世界をとらえると良い。	意見	⇒	産業・政策分野「3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化」「(1) 戦略的な観光振興による国際競争力のある観光地づくり」で対応します。また、戦略プロジェクトに「シティプロモーション推進プロジェクト」を掲げ、「行きたくなるまち」づくりを目指します。		ご意見を踏まえて、戦略プロジェクト「シティプロモーション推進プロジェクト」の図表に反映しました。また、産業・政策分野「3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化」の「(1) 戦略的な観光振興による国際競争力のある観光地づくり」において、「富士山静岡空港と清水港の国際交流機能や高速道路、新幹線などの交通アクセスを活用し・・・国内外でのプロモーションを戦略的に展開することにより誘客を図ります。」と文章化しました。	経済局ほか
5	42	5産業・経済	須藤	農業の活性化について、検討してほしい。	要望	⇒	産業・経済分野「2 環境と調和した農林水産業の高付加価値化」の中で、基盤と活力の強化、交流の促進、多面的機能の発揮という大きくは3つの観点から農業の活性化に対応しています。また、担い手の育成、学びと体験の場の整備を、蒲原畑総地区を活用して進めていきます。	—	—	経済局
5	48	5産業・経済	望月代理(柴田)	農業の現場で今一番困ってるのは、耕作放棄地の問題である。耕作放棄地の中でも、使いやすいようなところはお年寄りが花や野菜物を植えたり、育てる楽しみとしての使い方を提案したい。	提案	⇒	産業・経済分野「2 環境と調和した農林水産業の高付加価値化」の中で、農業に関心のある人々の活用も含め、農地の有効活用を推進します。	—	—	経済局
5	51	5産業・経済	佐竹副会長	例えば、駅前ビルや清水銀座など港湾と離れた所はほとんど活性化されてない。商店街がなくなるとどうなるか。駅前の開発だけでなく横断的なまちづくりも必要ではないか。	意見	⇒	産業・経済分野「3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化」「(3) 商業・商店街の活性化」などで対応しています。回遊性のある商業振興策を講じるとともに、商店街や個展の魅力向上やコミュニティ機能の強化を図ります。	—	—	経済局

5	54	5産業・経済	杉山代理 (五十嵐)	今、産業におけるキーワードは連携です。例えば農商工連携や産学連携など、限りある財産をうまく連携して経済発展につなげるという視点を頭に入れてほしい。	要望	⇒	産業・経済分野の政策体系において、農林業振興面からの商工業等との連携、観光面からの農商工等との連携による新たな観光商品の創出を施策に掲げ、異なる業種や企業間の連携を促進し地域経済の活性化を図ります。 P109 産業・経済分野の冒頭文において対応します。	産業・経済 冒頭文 「本市は、絶好の地理的ポジションや清水港などのすぐれた産業経済基盤、豊かな農林水産品・観光資源など、大きな経済的可能性を有しています。…そのため、すぐれた能力と意欲ある人材の育成、起業力・経営力・技術力・ブランド力等の強化、産業の高付加価値化などを推進していきます。」	産業・経済 冒頭文 「本市は、絶好の地理的ポジションや清水港などのすぐれた産業経済基盤、豊かな農林水産品・観光資源など、大きな経済的可能性を有しています。…そのため、すぐれた能力と意欲ある人材の育成、起業力・経営力・技術力・ブランド力等の強化、農商工等の連携、産業の高付加価値化などを推進していきます。」	経済局
5	55	5産業・経済	杉山代理 (五十嵐)	今後は、観光が非常に大きなウエイトを占めると思うが、その割に静岡の人はホスピタリティがないので、どのように発展させるかを踏まえ観光に力を入れていただきたい。	要望	⇒	産業・経済分野で「3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化」 「(1)戦略的な観光振興による国際競争力のある観光地づくり」「⑥来訪者の利便性と来訪者へのもてなしの向上」を掲げ、ホスピタリティ推進事業を展開していきます。	—	—	経済局
5	56	5産業・経済	杉山代理 (五十嵐)	清水港について、どのように都市的な利用をしていくか、港の活用を本格的に考えていただきたい。	要望	⇒	各分野において、以下のように清水港を活用したまちづくりを進めていきます。 産業・経済分野「4 国際貿易港・清水港を活かした地域産業の振興」 「(3) 港を活用したまちづくり」 都市基盤分野「2 にぎわいと風格のある「まちの顔」づくり」 「(1) 2つの都心地区の都市機能の高度化、集積化」 区別計画「清水区の将来ビジョン」 「① 港を活かした活発な交流により賑わうまち」	—	—	経済局
5	37	5産業・経済 都市基盤	杉山代理 (五十嵐)	清水港との関係で、清水都心をもっと魅力的にしていこうという視点がほしい。	意見	⇒	産業・経済分野「4 国際貿易港・清水港を活かした地域産業の振興」 「(3) 港を活用したまちづくり」、都市基盤分野「2 にぎわいと風格のある「まちの顔」づくり」 「(1) 2つの都心地区の都市機能の高度化、集積化」において対応しています。	—	—	経済局 都市局
2	15	6都市基盤	佐藤京	公的な交通機関の整備というのがものすごく遅れていると思う。これは、静岡市全体、特に山間地の交通の利便性が遅れていると思うので、その辺も含めて、大分大がかりな改善をやっていただきたいと思います。	提案	⇒	公共交通について、都市基盤分野「3 多彩な交流と活動を支える交通・情報体系の構築」「(2)人と環境にやさしい交通体系の構築」において対応しています。 また、山間地の基盤整備については、同「4まちと支えあう山間地と海岸部の振興」「(1)山間地・中山間地の魅力発信と交流・連携の促進」において対応しています。 個別事業としては、「山間地バス路線の維持対策」を実施予定です。		都市基盤分野「3 多彩な交流と活動を支える交通・情報体系の構築」 「(2)人と環境にやさしい交通体系の構築」において、「～公共交通の優先性の考えのもと、各種交通機関が適切に役割分担した都市総合交通体系を構築します。 公共交通や自転車の安全性、利便性、快適性を向上させ、自動車から公共交通や自転車などへの利用の転換を図ります」と文章化しました。 都市基盤分野「4まちと支えあう山間地と海岸部の振興」 「(1)山間地・中山間地の魅力発信と交流・連携の促進」において「都市と山村の交流を促進するために道路等の生活基盤の整備を進めます。」と文章化しました。	都市局

4	31	6都市基盤	杉山代理 (五十嵐)	交流とネットワークと変わらないのか、「活力のネットワークシティブロジェクト」でもいいのかなみたいな感じがするので、御検討いただきたい。中山間地域に人をたくさん住まわせようとするのが、コンパクトシティというコンセプトと相反すると思うので、その辺りを説明してほしい。	意見	コンパクトシティという、どうしても中心部だけ集約的にあらゆる機能を持ってきて、そこで完結してすべて終わらせようというイメージになりがちですが、コンパクトシティに入っている機能につきましては、市域全体について必要な機能を市の中心的なところに集約させることで、便利な、要は都市のエリアができるっていう発想になるかと思えます。コンパクトシティがあつて、周辺部の住まいの居住の場所があるという意味合いです。	左記により対応いたします。	—	—	都市局
5	36	6都市基盤	杉山代理 (五十嵐)	中心市街地の景観についても、ふれるべきである。	意見	⇒	都市基盤分野「1 快適で個性ある魅力的な都市空間の創出」「(2)多様で調和のとれた景観の形成、保全」の中で対応いたします。 また、同「2にぎわいと風格のある「まちの顔」づくり」「(1)2つの都心地区の都市機能の高度化、集積化」の中でも対応していきます。	「また、まちづくり協定等の推進による緑化やまちなみ整備、屋外広告物の規制・誘導、道路サポーター制度などの市民主体の活動を促進し、身近な日常生活空間の景観の向上を図ります。」 「今後もそれぞれの特性を活かしながら都市機能を一層高め・・・」	「また、市街地においても中心市街地の景観に配慮するとともに、まちづくり協定等の推進による緑化やまちなみ整備、屋外広告物の規制・誘導、道路サポーター制度などの市民主体の活動を促進し、身近な日常生活空間の景観の向上を図ります。」 「今後も景観などそれぞれの特性を活かしながら都市機能を一層高め・・・」	都市局
5	38	6都市基盤	杉山代理 (五十嵐)	2次総でも、LRT導入の検討とっているが、まだ検討のままか。	意見	⇒	都市基盤分野「3 多彩な交流と活動を支える交通・情報体系の構築」の「主な事業」に記載したとおり、引き続き多方面からの導入検討を行っていきます。	—	—	都市局
5	41	6都市基盤	須藤	都市基盤としての南北道路の整備をしてほしい。	要望	⇒	具体的な整備路線については、個別の事業（道路ネットワークの整備）の中で検討していきます。	—	—	都市局
5	43	6都市基盤	岩邊	都市基盤の向上の中に、蒲原・由比という表現も必要ではないか。	意見	⇒	都市基盤分野の冒頭文の中で対応していきます。 また、都市基盤分野「1 快適で個性ある魅力的な都市空間の創出」「(2)多様で調和のとれた景観の形成、保全」において、「～薩埵峠、宇津ノ谷峠、由比、蒲原、丸子など東海道の宿場町に由来する景観、」と文章化しています。	「広大な山間地と長い海岸線は本市の特色です。」	「由比、蒲原とも合併し、広大な山間地とや長い海岸線はが本市の特色です。」	都市局

5	50	6都市基盤	松浦	静岡というのはもともと非常に広域な政令指定都市なので、拠点それぞれをコンパクトにしていくとしても、むしろそれが多機能分担型、分散型としてお互いに連携し合うということが大事である。機能をお互いに分担し合う、それを実現するのが都心あるいは副都心なり、あるいは山間部海岸線をつなぐ交通網、情報網で、そうした拠点をいかに連携させて一つの政令市広域な自治体としての機能を充実させていくかということが必要になると思う。	意見	⇒	「まちづくりの展望 第2部」「戦略Ⅲ①活力と交流のネットワークシティブロジェクト」のプロジェクト図の中で表現しています。 また、都市基盤分野の冒頭文において、「人口減少社会を迎え、快適、安全、便利で効率的な都市空間を実現し、都市の活力を向上させていくため、まちの顔となる都心、副都心と地域拠点からなる集約型の都市構造を目指します。また、公共交通や自転車の利便性向上と利用促進、交通需要に適切に対応した道路網の整備により、低炭素社会への転換を図りつつ、多彩な交流や産業、暮らしの豊かさを支える交通体系を構築していきます」と文章化しています。	—	※プロジェクト図の中で、拠点間のネットワーク、連携をより強調するような表記とします。	都市局
5	57	6都市基盤 生活環境	市川	交通的な手段としての自転車対策について、しっかりと考えていただきたい。整備し、箱物をつくったけれども、そこへ入れる人々の認識が不足している。ここへ置いたって向こうへ行くまでにはかなりあるから、じゃここへ置いていこうということで、駐輪場がありながらも放置していく。それに対する教育的なものをこれから考えていってほしい。	要望	⇒	都市基盤分野「1 快適で個性ある魅力的な都市空間の創出」「(3)安全・安心でみんなにやさしい都市空間の整備」において、「まちなか駐輪対策として、自転車の適正利用、駐車マナーの向上が図れるよう啓発活動を進めるとともに、自転車等駐車場などの整備を推進します」と文章化しています。 また、生活環境分野「4 快適でゆとりと信頼ある市民生活の確保」「(2)快適で誰にもやさしい生活交通の実現」において、「自転車道ネットワークの整備などの基盤整備、走行・駐輪マナー対策などの啓発事業を推進します」と文章化しています。 個別具体的な事業については、事業計画策定の中で検討していきます。	—	—	都市局 生活文化局
5	61	6都市基盤	上利	「まちの顔」づくりというのがあって、先ほどの2次総のこの絵の話もそうですけども、静岡駅と清水駅、これ駿河区の代表として言うんですが、次に草薙とか東静岡と行きますよね。駿河区の話はどこに行くのでしょうか。せっかく区というのができたので、市ではない、もう少しローカルないんなそのまちのつくり方ということをこういうところでも組み込んでいただくとありがたい。	要望	交通拠点がどうしても重視されがちなどころで、区というものを視野に置いたときのその拠点のあり方ということで、駿河区は区役所を入れたという背景がございます。	都市基盤分野「2にぎわいと風格のある「まちの顔」づくり」「(3)都心の機能を補完する地域拠点の形成」において、駿河区役所周辺地区の役割について対応していきます。	「地域拠点では、交通結節機能や暮らしの拠点として都市機能を高め、都心、副都心との連携を強化し都心の機能を補完するまちづくりを進めます。」	「地域拠点では、交通結節機能や、暮らしや行政・文化機能の拠点として都市交流機能を高め、都心、副都心との連携を強化し都心の機能を補完するまちづくりを進めます。」	都市局

5	65	6都市基盤	小野寺	<p>自転車に乗る人がそれよりも弱い歩行者の視点に立って考えるという意識改革をし、その上で自転車のルールを作っていく、そういう静岡型で安全で安心な自転車ライフを普及することもいいと思う。まずは、歩行者とか、弱い立場の人が安全にまちで過ごせなければ、自転車がいくら活用されてもやっぱりいい町にはならないんじゃないか。</p>	意見	⇒	<p>都市基盤分野「1 快適で個性ある魅力的な都市空間の創出」「(3)安全・安心でみんなにやさしい都市空間の整備」において、「まちなか駐輪対策として、自転車の適正利用、駐車マナーの向上が図れるよう啓発活動を進める」と文章化しています。</p> <p>また、生活環境分野「4 快適でゆとりと信頼ある市民生活の確保」「(2) 快適で誰にもやさしい生活交通の実現」においても、「走行・駐輪マナー対策などの啓発事業を推進します」と文章化しています。</p> <p>歩行者の視点からは上記都市基盤分野の項目の中で、「地域の中心地や多くの人を利用する主要な施設周辺において、安全、快適な歩行者空間の整備を進めます」と文章化しています。</p> <p>個別具体的な事業については、事業計画策定の中で検討していきます。</p>	—	—	都市局 生活文化局
5	60	7土地利用構想	澤野	<p>都市空間、連携軸の形成ということで、道路網については表現がされているが、一般市民の方々が見た場合に、この表現、広域都市環境軸とか東西発展軸、市街地放射状軸というこういう表現が、もう少し具体的な絵を書いていたきたい。</p>	要望	⇒	<p>「まちづくりの展望第3部」「2 土地利用構想」「(1)都市空間計画」において、補足資料を加えて対応していきます。</p>	—	※ネットワーク図を追加します。その中で具体的な路線名等も記述していきます。	都市局